

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 創健社

コード番号 7413 URL <http://www.sokensha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中村 靖

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 本田次男

TEL 045-491-1441

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	922	△5.5	△37	—	△36	—	△37	—
26年3月期第1四半期	975	△3.3	△11	—	△12	—	△13	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △13百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△5.35	—
26年3月期第1四半期	△1.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年3月期第1四半期	2,518		983		39.0	139.45
26年3月期	2,575		981		38.1	139.18

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 982百万円 26年3月期 981百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—				
27年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,260	1.7	11	△9.1	13	△4.6	5	△47.6	0.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	7,055,000 株	26年3月期	7,055,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	6,673 株	26年3月期	6,522 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	7,048,425 株	26年3月期1Q	7,050,155 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] 4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11
(その他注記事項)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年6月30日）におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融政策により、緩やかな回復基調でありましたが、消費につきましては、4月1日の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響が見受けられました。

当社グループを取り巻く食品業界におきましては、消費者が近くの小売店で頻繁に購入する最寄品に対する根強い消費者の節約志向が継続するなか、輸入原材料価格・エネルギーコスト・物流コストは上昇するなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは「食」が持つ大切さを訴え続けるという企業使命を果たすため、「地球環境を大切に、食生活の提案を通して人々の健康的な生活向上に貢献する」の経営理念に基づき、第3次中期経営計画『「50周年を迎え、新購買層への更なるアプローチ」（平成26年4月1日から平成29年3月31日まで）』の初年度となります当連結会計年度におきましては、売上高拡大のための各種の施策により、売上総利益の額を増加させ、営業利益の確保を図るため、役員・社員一丸となって取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの商品品目別売上高につきましては、「その他」がスチームオーブンの売上増により、前年同四半期比5百万円増（16.9%増）の38百万円、「嗜好品・飲料」が梅果肉ドリンク及びとうふドーナツの売上増により、前年同四半期比2百万円増（1.8%増）の1億66百万円となりました。しかしながら、「調味料」が有精卵マヨネーズ等の売上増があったものの、液体だし等の売上減により、前年同四半期比29百万円減（9.5%減）の2億83百万円、「副食品」が熟成発酵黒にんにく及びパンケーキ等の売上増があったものの、いわし・ツナの缶詰及びパスタ等の売上減により、前年同四半期比9百万円減（5.1%減）の1億82百万円、「栄養補助食品」が天茶エキス等の売上増があったものの、ユーグレナ等の売上減により、前年同四半期比8百万円減（16.5%減）の44百万円、「油脂・乳製品」がえごま油及びココナッツオイル等の売上増があったものの、マーガリン及びべに花油等の売上減により、前年同四半期比6百万円減（4.8%減）の1億35百万円と、「乾物・雑穀」が蓮根粉等の売上増があったものの、ハトムギ粒及び餅きび等の売上減により、前年同四半期比6百万円減（8.4%減）の71百万円となりました。

この結果、全体の売上高は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減により9億22百万円（前年同四半期比53百万円減、5.5%減）となり、売上総利益率も25.9%と前年同四半期比0.4ポイント減となりました。販売費及び一般管理費は2億76百万円（前年同四半期比8百万円増、3.2%増）となり、営業損益につきましては、営業損失37百万円（前年同四半期は営業損失11百万円）となり、経常損益につきましては、経常損失36百万円（前年同四半期は経常損失12百万円）という結果にて終了しました。また、四半期純損益につきましては、四半期純損失37百万円（前年同四半期は四半期純損失13百万円）となりました。

品目別販売及び仕入実績の状況

当社グループの事業は単一グループであり、当第1四半期連結累計期間の販売及び仕入実績をセグメントごと及び事業部門ごとに示すことができないため、品目別に示すと、次のとおりであります。

① 販売実績

品目別	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)		前年同四半 期比	主要商品
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)		
油脂・乳製品	142,384	14.6	135,520	14.7	4.8%減	マーガリン・べに花油・えごま油・オリーブ油・ココナッツオイル
調味料	313,161	32.1	283,429	30.7	9.5%減	醤油・味噌・砂糖・塩・酢・カレー・シチュー・マヨネーズ・ドレッシング・液体だし・顆粒だし
嗜好品・飲料	163,406	16.8	166,278	18.0	1.8%増	菓子・野菜果汁飲料・お茶・ドライフルーツ
乾物・雑穀	77,962	8.0	71,409	7.8	8.4%減	小麦粉・パン粉・米・雑穀・鰹節・昆布・ひじき・蓮根粉・ハトムギ粒・餅きび
副食品	192,510	19.7	182,720	19.8	5.1%減	ジャム・スープ・レトルト食品・麺類・缶詰・熟成発酵黒にんにく・パンケーキ
栄養補助食品	52,853	5.4	44,132	4.8	16.5%減	青汁・キダチアロエ・梅エキス・ユーグレナ・ハトムギ酵素・乳酸菌・天茶エキス
その他	33,172	3.4	38,773	4.2	16.9%増	トイレットリー・機械器具・化粧品・虫よけスプレー
合計	975,450	100.0	922,263	100.0	5.5%減	—

② 仕入実績

品目別	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)		前年同四半 期比
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
油脂・乳製品	103,452	14.5	108,341	16.2	4.7%増
調味料	232,129	32.5	198,509	29.6	14.5%減
嗜好品・飲料	122,517	17.2	125,489	18.7	2.4%増
乾物・雑穀	62,191	8.7	56,104	8.4	9.8%減
副食品	130,190	18.2	117,980	17.6	9.4%減
栄養補助食品	33,893	4.7	29,189	4.4	13.9%減
その他	29,852	4.2	34,519	5.1	15.6%増
合計	714,227	100.0	670,133	100.0	6.2%減

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1億21百万円の減少となりました。この主な要因は、「受取手形及び売掛金」の90百万円減少及び「現金及び預金」の21百万円減少などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて65百万円の増加となりました。この主な要因は、「投資有価証券」の60百万円増加などによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて56百万円減少し、25億18百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて38百万円の減少となりました。この主な要因は、「短期借入金」の40百万円増加などがあったものの、「支払手形及び買掛金」の74百万円減少などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて19百万円の減少となりました。この主な要因は、「繰延税金負債」の21百万円増加などがあったものの、「長期借入金」の40百万円減少などによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて58百万円減少し、15億35百万円となりました。

（純資産）

純資産は、ほぼ前連結会計年度末並みの9億83百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、営業活動の結果9百万円及び投資活動の結果9百万円並びに財務活動の結果2百万円を使用し、当第1四半期連結累計期間末には9億46百万円（前年同四半期比59百万円減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動に係るキャッシュ・フローとして売上債権の減少額90百万円などにより一部相殺されたものの、仕入債務の減少額68百万円及び税金等調整前四半期純損失36百万円などにより、営業活動の結果使用した資金は9百万円（前年同四半期比4百万円減）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に係るキャッシュ・フローとして有形固定資産の取得による支出5百万円及び保険積立金の積立による支出3百万円などにより、投資活動の結果使用した資金は9百万円（前年同四半期比6百万円増）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に係るキャッシュ・フローとして短期借入金の純増額50百万円により一部相殺されたものの、長期借入金の返済による支出50百万円及びリース債務の返済による支出1百万円などにより財務活動の結果使用した資金は2百万円（前年同四半期比49百万円減）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により9億22百万円（前年同四半期比53百万円減、5.5%減）となり、売上総利益率も25.9%と前年同四半期比0.4ポイント減となりました。4月度及び5月度の売上高につきましては、前年同月比90%前半でしたが、6月度につきましては、前年同月比98%台でした。

利益につきましては、販売費及び一般管理費は2億76百万円（前年同四半期比8百万円増、3.2%増）となり、営業損益につきましては、営業損失37百万円（前年同四半期は営業損失11百万円）となり、経常損益につきましては、経常損失36百万円（前年同四半期は経常損失12百万円）という結果にて終了しました。また、四半期純損益につきましては、四半期純損失37百万円（前年同四半期は四半期純損失13百万円）となりました。

なお、平成27年3月期通期の連結業績予想につきましては、売上高は、平成26年7月度単月につきましては、前年同月比99%台であり、また、期初に計画いたしました以上の原価の低減や固定費の削減に取り組んでまいりますので、平成26年5月15日発表の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

有形固定資産その他(機械装置)の減価償却の方法については、従来、連結子会社高橋製麺株式会社は定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、有形固定資産その他(機械装置)の使用状況などを検証した結果、長期安定的な稼働が見込まれることから、定額法による減価償却の方法を採用する方が稼働実態をより適切に反映すると判断したために行ったものであります。

この変更による当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,169,818	1,147,844
受取手形及び売掛金	663,405	572,597
有価証券	32,312	32,316
商品及び製品	192,138	183,554
仕掛品	89	120
原材料及び貯蔵品	24,387	24,852
その他	24,239	23,452
貸倒引当金	△1,678	△1,513
流動資産合計	2,104,714	1,983,224
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	286,956	289,116
減価償却累計額	△224,666	△226,180
建物及び構築物（純額）	62,290	62,935
土地	79,033	79,033
リース資産	35,791	35,791
減価償却累計額	△14,808	△16,666
リース資産（純額）	20,983	19,125
その他	177,767	178,523
減価償却累計額	△167,819	△166,691
その他（純額）	9,947	11,831
有形固定資産合計	172,255	172,926
無形固定資産		
のれん	354	310
その他	15,743	14,503
無形固定資産合計	16,097	14,813
投資その他の資産		
投資有価証券	134,711	195,682
保険積立金	109,342	113,229
その他	39,307	39,941
貸倒引当金	△1,405	△1,098
投資その他の資産合計	281,956	347,754
固定資産合計	470,309	535,495
資産合計	2,575,024	2,518,719

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	490,374	416,224
短期借入金	445,056	485,136
リース債務	7,738	7,655
未払法人税等	6,698	2,705
賞与引当金	11,318	5,037
その他	84,183	89,883
流動負債合計	1,045,368	1,006,641
固定負債		
長期借入金	219,704	178,820
リース債務	14,329	12,472
繰延税金負債	21,203	42,512
役員退職慰労引当金	86,400	88,100
退職給付に係る負債	180,303	180,784
その他	25,964	25,873
固定負債合計	547,905	528,562
負債合計	1,593,273	1,535,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	920,465	920,465
資本剰余金	411,979	411,979
利益剰余金	△388,713	△426,448
自己株式	△1,153	△1,171
株主資本合計	942,576	904,824
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,443	78,046
その他の包括利益累計額合計	38,443	78,046
少数株主持分	730	644
純資産合計	981,750	983,515
負債純資産合計	2,575,024	2,518,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	975,450	922,263
売上原価	719,033	683,487
売上総利益	256,417	238,776
販売費及び一般管理費	※ 267,749	※ 276,260
営業損失(△)	△11,332	△37,484
営業外収益		
受取利息	29	29
受取配当金	867	1,414
仕入割引	575	634
貸倒引当金戻入額	—	206
為替差益	—	24
破損商品等賠償金	92	53
その他	286	309
営業外収益合計	1,851	2,672
営業外費用		
支払利息	1,703	1,326
為替差損	908	—
その他	2	2
営業外費用合計	2,614	1,328
経常損失(△)	△12,094	△36,139
特別損失		
固定資産除却損	273	0
特別損失合計	273	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△12,368	△36,139
法人税、住民税及び事業税	1,673	1,680
法人税等合計	1,673	1,680
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△14,041	△37,820
少数株主損失(△)	△637	△86
四半期純損失(△)	△13,404	△37,734

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△14,041	△37,820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	39,603
その他の包括利益合計	58	39,603
四半期包括利益	△13,982	1,782
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,345	1,868
少数株主に係る四半期包括利益	△637	△86

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△12,368	△36,139
減価償却費	5,749	5,815
のれん償却額	—	44
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,367	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	480
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,600	1,700
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,688	△6,281
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△37,605	△471
受取利息及び受取配当金	△896	△1,444
仕入割引	△575	△634
支払利息	1,703	1,326
為替差損益(△は益)	908	△24
固定資産除却損	273	0
売上債権の増減額(△は増加)	△71,395	90,977
破産更生債権等の増減額(△は増加)	37,855	306
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,953	8,089
仕入債務の増減額(△は減少)	66,444	△68,750
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,670	1,993
その他	1,981	△1,605
小計	△8,363	△4,618
利息及び配当金の受取額	1,605	1,166
利息の支払額	△1,656	△1,268
法人税等の支払額	△5,608	△4,335
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,023	△9,057
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△450	△450
定期預金の払戻による収入	2,100	750
投資有価証券の取得による支出	△59	△59
有形固定資産の取得による支出	—	△5,258
無形固定資産の取得による支出	△1,340	—
貸付金の回収による収入	158	202
保険積立金の積立による支出	△3,976	△3,886
その他	50	△1,143
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,517	△9,845
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	50,000
長期借入金の返済による支出	△50,763	△50,804
リース債務の返済による支出	△1,824	△1,967
自己株式の取得による支出	△110	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,698	△2,791
現金及び現金同等物に係る換算差額	△908	24
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△71,147	△21,669
現金及び現金同等物の期首残高	1,077,304	968,231
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,006,156	※ 946,561

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(その他注記事項)

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
荷造運送・保管費	64,094千円	64,767千円
給料手当及び賞与	75,810	77,773
研究開発費	5,683	5,981
退職給付費用	10,366	13,310
役員退職慰労引当金繰入額	1,600	1,700
賞与引当金繰入額	2,340	4,837
貸倒引当金繰入額	68	—

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
現金及び預金勘定	1,207,756千円	1,147,844千円
有価証券(MMF等)	32,299	32,316
預入期間が3か月を超える定期預金	△233,900	△233,600
現金及び現金同等物	1,006,156	946,561